

干支学から見る辰年の傾向

暦作家・東京恵比寿 RC 井上象英様

旧暦からしますと、2月3日の節分までは辰年ではなく卯年の干支になります。暦学では、去年の10月くらいから今年の辰年の動きは始まり、節が変わった2月3日以降の3月4月には完全に辰年の動きをしています。今回は地震がとても痛ましいことになり、暦にも自然災害のことを書きましたが、ここに北陸と名前を載せてしまいました。私は干支学が統計学だと思っております。2684年の歴史があり、この歴史によって過去を知ることができます。

干支や星が重なる 過去の歴史

- *弘化元年（甲辰・三碧）：
江戸城本丸大火。水戸斉彬が隠居。オランダが開国開港を要求。
- *昭和9年（甲戌・三碧）：
帝人事件。岡田内閣新発足。函館大火災。西園寺暗殺計画。
- *昭和27年（壬辰・三碧）：
白鳥事件。破防法制定。自由党内紛。血のメーデー事件。
- *昭和39年（甲辰・九紫）：
東京オリンピック開催。ケネディーショック。起業倒産相次ぐ。
- *昭和63年（戊辰・三碧）：
グラマン、リクルート事件で議員辞職相次ぐ。税制の大改革。

辰年は政治が大きく変わり、経済は非常に良くなっています。相反しますが政治と経済は違い、経済は企業努力という稼ぐ力が今年はずごく、そういう意味では光るものがあると私は思っております。

2024年（令和6年）

甲辰：三碧木気性（きのえ・たつ・さんぺき）

甲（陽木） 十干の一番目。五行は木性（木の兄）東北東に在り初春。本義は植物の種子や殻に亀裂がはいる「かいわれ」の貌。甲の裂けるは「伸」に通じるため、草木の成長を指す。また、甲羅や殻などを象っているため、稲妻の走る勢いや規制の殻を破って革新する様子を表わす甲骨文字。人の頭の貌とする説明もある。

辰（陽土） 地支の五番目。方位は東南東。初夏の春の土用。「辰」の象形は貝の口から舌が振るい動き出る姿。会意文字で「振」「震」「伸」に通じ「はらむ」意がある。理想に向かって辛抱強く、伸び栄える働きを持つ。また、辰は「龍」をイメージする干支。雲を味方につけ、様々な抵抗や妨害と戦いながら歩を進める働きが、将来へ向けた期待を予測させる。

三碧木気性 定位は東。五行は木性。若い木や春の新緑の季節を表す。易卦では「雷」に。その徳は「震い動く」です。『易経』では「帝震より出ず」とあり、季節なら初春。本来は東に位置し

属性は「雷」。また、三碧の作用は電信電話やネットワークの「光」そのもの。肌を感じる波動や「気」も含む。とくに成長の早い樹木を象徴し、希望や目標に向かって躍進する象意です。

態勢・・・「甲」は草木の芽が硬い外皮を破って地上に出る姿を象り、初春の季節を表わしている。また、象形は稲妻の姿。人偏を付けた「伸」には勢いがあり「発展・拡大・再生力」を意義とし、正に新しい時代に「四時巡りて百物生ず」を象徴している。新しい時代を迎えるための断固とした姿勢と覚悟を示唆している。旧体制の殻（甲）を破って革新するには行政への新しい人材の登用と配置、組織の見直しという構造改革も必要になる。また、「子」から始まった改革路線は卯年に始まり辰年に路線変更するか目的変更を余儀なくされる暗示がある。それは陰気が陽気に逆らって進むため、異論反論のせめぎあいが続くからでもある。とくに「辰」は龍の姿を象徴する為、雲に乗って成長する希望もある。態勢としては国民自らが「切磋琢磨」して本物の経済成長の路を体感するのではないかな。王道政治を貫くには一貫した信念と勇気が必要不可欠だが、新時代をになう若木には、良い条件の中での刺激と躍動が必要。「萬燈照国」を目指す周期に入る年。

—— 辰年や三碧年の傾向 ——

- 1: 「環境」や「節約」を重視した付加価値や技術力を駆使した商品や作品が目立つが、高い技術力に驕りが見える。どの分野に於いても「質」が問われる傾向に。
- 2: 外交か国防か意識改革が必要に。政財界で泥縄的脱税事件発生。教育、医療機関ではモラルの問題が浮上。中国（アジア）やアメリカ経済に激震が走るかも知れない。
- 3: 一白に暗剣殺が同座するので“虚偽”や“悪しき慣例の露見”の周期は続く。戌に歳破が付くため「結束」や「指導力」問題にもヒビが入りやすい。また、干支の共通する要素は“見えない世界への不安”。つまり精神世界はもちろん、身近でない社会問題や自然現象など。また、昨年から火山活動と地震の周期でもある。

今年のキーワード：「振動」&「飛躍」

「飛龍」という言葉があります。易の中に「潜龍」、休んでいる龍がもそもそ動き出して、雲が来るのを待って飛び乗るといった物語がありますが、潜龍がもそもそ動き出した瞬間がこの辰の5月くらいです。5月～7月この3ヶ月が、空に向かって動く、経済がどんどん活性化し、10月秋ぐらになると雲に乗る、というような周期です。

福運宮 縁尋機妙 信頼関係	頂上官 夢の実現 直観力	準備宮 軸足確認 堅実性
開運宮 折目節目 瞬発力	静観宮 補給作業 身辺整理	喜楽宮 仲間意識 柔軟性
変化宮 優先順位 修正力	困難宮 質の向上 内部強化	強運宮 人脈強化 実践教育

(運気のサイクル)

二	七	九
暗剣殺 一	三	五
六	八	歳破 四

(今年の星盤)

一白・・・フットワークが非常に大事な年です。責任ごとも含め優先順位を決めて迅速に動く、忙しく動き回るほど、心身が快調になる。また人の話は最後まで聞くということを頭の中に入れておいていただきたい。力量以上、自分のやれる範囲以上のことをするので、力量以上のことはしないようにしてください。

二黒・・・昨年はあまりよくなかったかもしれないですが、それを挽回するような年回りに今年入ります。人の縁は非常に大事です。人の話を聞いて自分で見に行ったり調べたりしてください。夢の実現の第一歩です。己のために動いてほしいというのが今年の二黒です。夢の実現に向かって人との縁を大事にして行動してください。収穫がいっぱいあります。

三碧・・・人生に一区切りをつける年です。今年は、次の来年に向けて準備しておかなくてはいけない、今後の人生設計を考える年にあります。己のために時間を使って、自分の本業重視で、公私の区別をきちんとつけられるようなスケジュール調整をするということが非常に大事です。そうでないと体を壊します。注意しましょう。身辺整理が大事です

四緑・・・自分がリーダーシップをとらなくてはいけないという星回りに入っています。非常に運気がよく、天の時、地の利を得るときです。さまざまな壁を乗り越えてきて今日があります。自分の個性や才能を伸ばし、またそれを生かしてさらなる新しい分野に立ち入ってほしい。よき先輩、有識者の意見を聞きながら、さらに別の分野での活動、活躍を考えていただきたいです。

五黄・・・経験豊かな人たちの意見を聞いてほしい。自分の苦手な相手の意見を聞くことによって、逆に落としたチャンスを拾ったり、あるいは新しい出会いによって自分の新しい世界が見えるということもあります。この1、2年の人脈はさらに濃厚になっていきますので、そういう付き合いを嫌がらないことが大事だと思います。自分の好むところを執着しないで、相手の趣味や

関心ごとに配慮を持つということは非常に重要になっていきます。趣味事にお金をつぎこんでいく可能性がありますので、この時のお金の使い方にはちょっと注意していただきたいです。

六白・・・物事を大局的に見て、無駄な動きを極力減らすことが大事です。余計なことはしない。様々な角度から将来を考えて今やれるべきことを行う。日常的な当たり前のことをしているのが一番無難です。よく考えたうえで、効率を重視していく、優先順位と、詰めの甘さを注意してください。耳障りのいい話ばかり乗って行ってしまうと利用されてしまいます。できることをできる範囲で今年は淡々と行い、優先順位を決めて、自然の歩みに従うのが無難です。

七赤・・・苦手なことを克服するための学びというものがが必要です。自分から学びに行くということがいいです。学ぶ周期なので、おおいに収穫が上がるでしょう。外見の体裁よりも、内容の濃さを売り物にして、活動をしてください。苦手意識を持っているものがあつたら、それを克服してほしいというのが七赤の人です。

八白・・・厄年(60歳)で、公私のバランスのとり方が難しいという年回りです。仕事はうまくいっているが体調があまりよくない、元気なのだが仕事がうまくいっていない、どちらかです。自分の既往症や、体調の弱いところに注意するという、体の方も含めて注意してほしいです。仕事が盛り上がっている年回りに入ります。なんでも自分でやろうとすると体調を崩すということだけは覚えていただきたい、何事も背水の陣を構えるということがいいと思います。

九紫・・・今日までやってきたことに対する完成、振り返る年回りになります。趣味が一緒とか、あるいは仕事仲間とか、素敵な交流がやがて仕事に結びつくということがありますので、何事にも苦手意識はなくしておく、目標は一つに絞って一意専心で進むことができれば、来年はその花を咲かせたり、今年その種が開花して、そして根付くかもしれません。

今年来年は、経済は非常に良くなる、去年から経済は良くなってきていますので、振るい動くということはどういうことか、黙って動かないでいると根が腐るんですね、動いてやまないという、そういう年回りですので、経済活動もぜひみなさん、自分の業界を頑張ってください、と思います。

